表彰式および展示会の様子
（令和5年12月、徳島県立二十一世紀館にて）

“人権尊重～ひと・いのち・ふれあい～”

令和5年度「人権に関する児童生徒の作品」

徳島の未来を担う子どもたちが「人権」と向き合い、自分なりに考えるきっかけをつくるため、あいぽーと徳島では「人権に関する児童生徒の作品」を毎年県内の児童生徒から募集しています。
意見発表に係る作文、作詩作曲、標語ポスターの3部門に、52,311点という数多くの応募があった中から、**知事賞を受賞した作品及び各賞受賞者名**を紹介します。

主催／徳島県・徳島県教育委員会・徳島県立人権教育啓発推進センター（あいぽーと徳島）　後援／徳島県小学校長会・徳島県中学校長会・徳島県高等学校長協会・徳島県特別支援学校長会・徳島県人権教育研究協議会

知事賞　意見発表に係る作文部門

思いを伝えることの大切さ

那賀川中学校三年　篠原　咲衣

「自分が間違っていないと思うなら、それはきっと正しいことだよ。」その言葉がなければ、たぶん私は自分の思いを伝えられなかったと思う。

私がまだ小学生だった頃のある日、私は友達がいじめられているところを見かけた。でも、私はただ見ていることしかできなかった。その日の夜、「どうしてあのとき、助けてあげられなかったんだろう。」という思いが何度も頭をよぎって消えなかった。それなのに、その次の日も、また次の日も、私は声をかけることすらできずに、友達がいじめられている姿を、ただ見て見ぬふりをしていた。いじめに気付いているのは私だけではなかった。周りのクラスメイトの中にも、気付いている人は数名いた。そしてその中には、友達がいじめられている光景を見て笑っている人もいた。

それを見た私は、もう我慢の限界だった。「どうにかしよう。どうにかしたい。」と思った。私はそのとき、特に仲の良かった二人の友達にそのことを相談した。二人は最後まで真剣に私の話を聞いてくれた。「どうしたらいいと思う。」と二人に聞いてみた。するとその二人は、「直接本人に、どうしてそんなことをするのか聞いてみるのがいいと思う。」と言った。確かにそうだなと思った。でも、私にはその勇気がなかった。その人がどう答えるのか、まったく予想できなかったし、その人の答えを聞いた上で、自分の思いをきちんと伝えられる自信がなかった。そして何よりも、友達と同じように、自分もいじめのターゲットにされるのではないかと考えるだけで、足が震えるほど怖かった。

そんな私の気持ちをわかってくれた上で、二人の友達はこう言ってくれた。「咲衣ちゃんが間違っていないと思うなら、それはきっと正しいことだから、自信を持っていいよ。大丈夫、咲衣ちゃんには私たちがついているから。」と。私はその言葉を聞いて、心にどんどん勇気が沸いてくるのを感じた。そして、なんとか友達を助けることができるかもしれない。いじめをなくすことができるかもしれないという希望が生まれた。

次の日、私はいじめをしている本人に自分の伝えたかったことを一生懸命伝えた。そして、すべて伝えることができた。すると、その人は、私の話を何度もうなづきながら聞いてくれて、最後に「私のしたことは本当にしてはいけないことだった。」と言い、「その子に会ってきちんと謝ってくる。」と言ってくれた。それからはいじめはなくなって、前よりも居心地の良いクラスになった気がして、私はとてもうれしかった。勇気を出して、伝えたかったことを伝えることができてよかったと思った。

いじめのせいで、尊い命が失われたというニュースを、今まで何度も見てきた。そして今このときにも、いじめに苦しみ、生きる希望をなくしかけている人たちは、きっといる。もしかすると私が気付いていないだけで、そんな人が私の身近にもいるかもしれない。

いじめは、された本人の心を深く傷つけ、その人の人生をめちゃくちゃにしてしまうだけでなく、した本人の人生も大きく狂わせてしまう。中にはいじめはなくならないと言う人もいる。でも、私はそうは思わない。いじめをするのも人間なら、それを防ぎ、なくしていけるのも人間だと思う。

私はこれからも、自分が正しいと思ったことを、勇気を持って人に伝えていきたい。そうすることで、泣いている誰かを助けることができるかもしれないからだ。そのためにも、自分が正しいと信じることを貫き通して、誰かに優しく手をさしのべられるような、強さと優しさをもった人間に成長していきたいと思う。

「らしさ」って何だろう

城ノ内中等教育学校五年　木谷　有花

先日、母と服を買いにショッピングモールに行ったときのことだ。私はモノトーンでおしゃれな柄のシャツが気に入ったので、母に見せに行った。値段も高くなかったので、きっと買ってくれるだろうと期待して、「これどう？めっちゃおしゃれじゃない？」とたずねた。ところが母の返事は、「それは男らしすぎるよ。」であった。私は言葉が出なかった。結局、私はそのシャツを買いたいとは言えなかった。家に帰ってからも私の心はもやもやとしていて、「男らしすぎる」という母の言葉が頭の中で繰り返された。

私は日によって好きなものの系統が変わりやすく、その振れ幅も周りの人より大きいと自覚している。極端にかわいいものやかっこいいものをよいと思う日もあれば、そのどちらも兼ね備えたものに魅力を感じる日もある。私はそんな自分の性格を気に入っている。服装や髪型、持ち物を定期的に変えたくなるのを大変と思うこともあるが、それ以上に毎日違ったものを違った気持ちで楽しめることがうれしいのだ。母に「男らしすぎる」と言われ、私は自分の「好き」を否定されたように感じた。それも、誰が決めたのかも何が基準かもわからない尺度で。仮に「男らしさ」という規定があったとして、それを越したから何だというのか。私がどれだけかわいいものを好きだと言っても、母がそれを「女らしすぎる」と言うことはない。私は「男らしく」「女らしく」と思いながら何かを選んでいるわけではない。ただ、好きだと思うものを追っているだけだ。なのに、かっこいいものだけは私が女だからという理由で認められない。かといって私が男だったら、かわいいものを認めてもらえないのだろう。

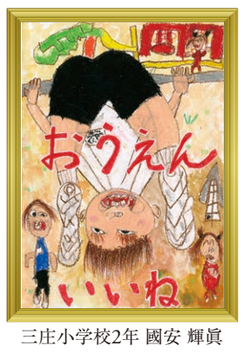
私は自分の性別に縛りつけられているようで、なんだか窮屈になった。誰かに迷惑をかけることでもないのに、どうして他人に自分の好みを性別で判断されなければいけないのだろうか。もし、男性と女性の中間の性があったら、「男らしく」「女らしく」などとは言われないのかもしれない。それとも「中性らしく」いることを強制されるのだろうか。では、性的少数派の人たちは、何らしくすれば受け入れられるのだろうか。

時々「自分らしさがわからない」という声を聞くが、私は、自分らしさは探して見つけるものではないと思う。「らしさ」というのは後からついてくるものだ。そのときの人の考えや感情そのものがその人らしさではないだろうか。生きているだけで、その人らしいのだと私は思う。大切なのは、それを自分で押し殺してしまわないことだ。今、人の目を気にして生きている人はたくさんいる。私もその一人だ。でもそんなことはもうやめよう。型にはまっていようとするから、自分を見失ってしまったり、息苦しくなったりするのだ。「らしさ」を押しつけてくる人たちも、きっと自分が押しつけられるのは嫌なはずだ。誰だって自分の好きなように生きていい。人生は他人が決めるものではない。私はそう思っている。

とは言っても、否定されるかもしれないのに、自分の気持ちを伝えることはとても勇気のいることだ。でも私は、母にシャツをほしいと言えなかったとき、自分までもが自分の気持ちを否定しているような気がして心が痛かった。私はこんな思いをもうしたくない。誰に何を言われても、私だけは私の心と真剣に向き合っていたい。私以外の、自分を我慢して生きている人たちにもそうしてほしいと思う。その方がきっと、自分らしさが輝くし、毎日がもっと色鮮やかになる。そして、自分をまっすぐに受け止めてくれる人と出会えれば、相手のことも受け入れやすくなると思う。うれしいことに、私には私の心を正面から見つめて大切にしてくれる友達がいる。私はそんな友達を大事にしたいし、友達が私にしてくれたように、私も誰かの心を受け止められる人でありたい。こんな幸せの輪がもっともっと広がっていくことを、私は心から願っている。

知事賞　標語ポスター部門

箸蔵小学校1年 永谷　圭



三庄小学校2年 國安 輝眞

大俣小学校3年 森本 吉慶

東光小学校4年 佐藤　葵

貞光小学校5年 中島 蒼太

下名小学校6年 和田里 塔子

三加茂中学校3年 和泉 拓海

三加茂中学校3年 福田 夏鈴

鳴門高等学校1年 長尾 美波

徳島聴覚支援学校高等部2年 山市 優奈

知事賞　作詞作曲部門

from ME to the WORLD　作詩作曲／名西高等学校芸術科音楽コース23HR

僕が立ち止まったとき　背中押してくれた
その手の温かさは　今も覚えているよ
だからきみがつらい時は　1人で悩まないで
きみがくれた勇気の翼　次は僕が届けるよ

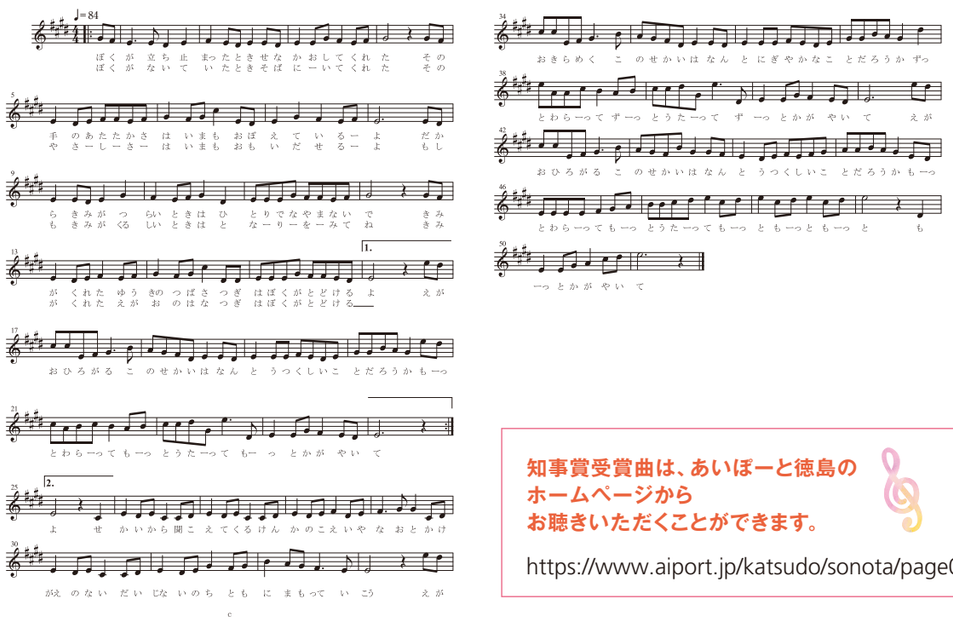
笑顔広がるこの世界は　なんと美しいことだろうか
もっと笑って　もっと歌って　もっと輝いて

僕が泣いていたとき　そばにいてくれた
その優しさは　今も思い出せるよ
もしも君が苦しい時は　となりを見てね
君がくれた笑顔の花　次は僕が届けるよ

世界から聞こえてくる　ケンカの声　イヤな音
かけがえのない大事な命　共に守っていこう

笑顔きらめくこの世界は　なんと賑やかなことだろうか
ずっと笑って　ずっと歌って　ずっと輝いて

笑顔広がるこの世界は　なんと美しいことだろうか
もっと笑って　もっと歌って　もっと　もっと　もっと
もっと輝いて



知事賞受賞曲は、あいぽーと徳島のホームページからお聴きいただくことができます。
https://www.aiport.jp/katsudo/sonota/page04.html

理事長賞

【意見発表に係る作文】
半田中学校2年・鎌倉 花凪／徳島中学校3年・永田 渉／鳴門市第二中学校3年・西村 真緒／神山中学校3年・細井 陽斗／城東高等学校2年・林 はな／富岡東高等学校2年・鎌田 和奏／阿波高等学校2年・永峰 浬玖

【作詩作曲】
城東高等学校1年・石丸 咲瑛／阿南支援学校高等部・さわやかクラブ&人権委員会

【標語ポスター】
児安小学校1年・林 香凜／中野島小学校1年・森長 美陽／牛島小学校1年・近久月乃／上勝小学校1年・百野 佑／鷲敷小学校1年・大津 安慈／宍喰小学校1年・黒川 柚華／藍住西小学校1年・坂根 央理／池田支援学校小学部1年・井上 陽葵／北井上小学校2年・阿部 想石／中野島小学校2年・高松 郁斗／羽ノ浦小学校2年・竹本 望未／上勝小学校2年・宮繁 沙奈／松茂小学校2年・仁木 一登／半田小学校2年・日浦 正宗／貞光小学校2年・柳澤 心那／中野島小学校3年・ルビン 世雄／御所小学校3年・大久保 望丘／江原南小学校3年・北野 澪／箸蔵小学校3年・冨上 怜那／北島小学校3年・山口 拓真／半田小学校3年・山本 健志朗／貞光小学校3年・舟井 勇晴／板野支援学校小学部3年・原田 悠生／吉井小学校4年・小久見 紋子／福井小学校4年・森 凜大／西麻植小学校4年・福田 陽向／江原南小学校4年・佐藤 美彩／広野小学校4年・織田 ののか／東光小学校4年・吉岡 栞那／三庄小学校4年・安田 充輝／橘小学校5年・広瀬 未来／今津小学校5年・秋田 奈々美／馬路小学校5年・森 優明／北島小学校5年・神内 菜々実／津乃峰小学校6年・岡 千尋／御所小学校6年・荒尾 宥章／御所小学校6年・平尾 煌光／土成小学校6年・美馬 彩翔／大俣小学校6年・浮田 ゆな／池田小学校6年・緒方 玲菜／海南小学校6年・岸本 沙奈／板野西小学校6年・藤村 真央／松島小学校6年・竹宮 和花／貞光小学校6年・緒方 駿／徳島聴覚支援学校小学部6年・岡本 栞菜／三島中学校1年・三宅 希／鷲敷中学校1年・福永 颯太／板野支援学校中学部1年・齋藤 聖奈／板野支援学校中学部1年・早雲 日彩／応神中学校2年・富森 笑花／国府中学校2年・青木 蒼空／加茂谷中学校2年・大平 珠愛／鴨島第一中学校2年・住友 みらい／三島中学校2年・中山 綾乃／南部中学校3年・喜瀬 未咲／上八万中学校3年・高田 凛／川内中学校3年・糸田川 海凪斗／大麻中学校3年・高原 まりあ／三加茂中学校3年・林 芽生／三加茂中学校3年・松浦 希美／徳島科学技術高等学校1年・桑原 杏奈／徳島科学技術高等学校1年・安岡 優菜／富岡西高等学校1年・藤本 聖也／名西高等学校1年・田中 文音／名西高等学校1年・長村 明奈／名西高等学校1年・村本 紗良／脇町高等学校1年・三木 菜々恵／ひのみね支援学校高等部1年・仁木 杏奈／鳴門教育大学附属特別支援学校高等部1年・荒岡 大晴／徳島商業高等学校2年・我原 永愛／富岡西高等学校2年・関本 芽吹／徳島聴覚支援学校高等部2年・山本 樹／阿波高等学校3年・樋口 温香

教育長賞

【意見発表に係る作文】
鴨島東中学校3年・吉本 詠人／吉野中学校3年・吉川 來夢／徳島市立高等学校2年・居村 威／那賀高等学校3年・野口 明日香

【作詩作曲】
城東高等学校1年・中田 美梨

【標語ポスター】
川内北小学校1年・兼田 直恭／北小松島小学校1年・橋本 妃生／横瀬小学校1年・山崎 詩恩／海部小学校1年・北川 蒼／不動小学校2年・矢田 将平／八幡小学校2年・近藤 瑠奈／八幡小学校2年・吉田 葵莉／脇町小学校2年・西内大翔／大津西小学校3年・井澤 向陽／柿原小学校3年・阿部 恵実／貞光小学校3年・長江 隆真／上八万小学校4年・橋口 莉子／小松島小学校4年・牧 優希／知恵島小学校4年・播磨 悠太／王地小学校4年・馬場 晴琉翔／松島小学校4年・稲岡 蒼大／佐古小学校5年・升山 葉稀／和田島小学校5年・上村 涼／加茂名南小学校6年・吉本 芽生／知恵島小学校6年・谷田 穂莉／脇町小学校6年・上杉 真夕／脇町小学校6年・正木 優輝／美馬小学校6年・林 友葵乃／貞光小学校6年・谷川 真弥／池田中学校1年・大西 真央／穴吹中学校2年・佐古 康惇／高浦中学校2年・後藤 杏美／三好中学校2年・坂本 華音／城東中学校3年・土居 由奈／城東中学校3年・原 かれん／穴吹中学校3年・安達 清那／徳島視覚支援学校中学部3年・中原 勇哉／徳島科学技術高等学校1年・真田 一輝／富岡東高等学校1年・土井 優理／鳴門高等学校1年・皆川 真凜／脇町高等学校1年・牛尾 真麻／脇町高等学校1年・木藤 さくら／徳島北高等学校2年・石田 杏／徳島商業高等学校3年・牧野 康貴／ひのみね支援学校高等部3年・吉田 史奈

気軽に利用できるみんなのあいぽーと徳島です　あいぽーと徳島　徳島県立人権教育啓発推進センター　770-0873 徳島市東沖洲2丁目14 沖洲マリンターミナルビル内tel.088-664-3719 fax.088-664-3727 https://www.aiport.jp
開館：午前10時から午後6時まで
休館：毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）と年末年始